

令和6年度 第7回 政策決定会議 会議録

◆開催日時：令和6年11月18日（月） 15：00～15：23

◆開催場所：市長公室

◆出席委員：永野市長、波積副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長

◆説明者：山本保健部長、長谷川健康推進課長、西川参事、小山保健推進担当長

◆審議事項

第2次岸和田市のいのち支える自殺対策計画の策定について・・・・・・・・健康推進課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈波積副市長〉概要版（案）1頁を見ると、自殺死亡率の岸和田市の数字は大きく変化している。これは自殺死亡率が（人口10万人当たりの自殺者数であるので岸和田市の人口規模では）自殺者数に大きく左右されるということもあるが、平成27年や平成30年にはもしかしたら何かほかの要因もあったのかもしれない。あくまでも印象だが、コロナ禍の時期に岸和田市の自殺死亡率が全国を上回ったのは、岸和田市というまちが、町会をはじめとする密なコミュニケーションのあるまちなので、（コロナ禍によって）それがなくなったことが悪いほうに影響したのではと感じた。

厚労省でも自殺対策には力を入れて取り組んでおり、しっかりした支援もあって、この重点施策の抽出があったと聞いている。重点施策を含め、計画はしっかりと作られているので、これをちゃんと進めていかなければと思う。

私の知人のなかにも自殺で亡くなった人がいる。自殺を選んだ本人も悲しいが、よく知る人間であればあるほど、なぜ救えなかったのかと悲しみは大きい。難しい問題ではあるが、そういう人が1人でも少なくなるように、本当にしっかりと計画を前に進めていただきたい。

〈岸副市長〉計画素案64頁、資料編の職員アンケートの結果のなかで、「市の策定している計画を知っていますか」では、半数近い人に認識されていないのが少し寂しい。第2次計画の間には数字がもっと伸びるよう、周知をお願いしたい。

〈教育長〉厚労省の方針も明確に示されていることから、計画自体は非常に体系的かつ網羅的に、精緻な計画になっている。大事なのはこれをしっかりPDCAで回していくこと。その点を願いたい。

第1次の計画について、チェック（PDCAのC=Check）の部分で、何か弱かった点、あるいは欠けていたことなどで、今回の計画に反映したことはあるか。

〈健康推進課長〉（第1次の計画では）計画の理念や目標という大きなところは掲げていたが、取組をどれくらい進めることができているかを判断する指標を持っていなかった。今回は施

策ごとに目標となる指標を定め、計画全体の大きな目標については実際の社会情勢に左右されることがあっても、行政としての取組は一定進捗を測っていけるようにしている。

〈教 育 長〉自殺の原因の大元を断つのは、経済対策、貧困の問題、個人の健康の問題など、なかなか市町村や行政だけで対応できる問題ではないが、大事なのは、市民に身近な基礎自治体として、自殺を少しでも頭に思い浮かべている市民に寄り添うということ。そういう意味でも、ゲートキーパー研修、あるいはアウトリーチが非常に重要。個々の施策においても、そうしたことを常に意識しながら仕事を進めていただけるよう、職員にも周知をお願いしたい。

〈市 長〉福祉の仕事をしていたので、現場で、利用者の関係者や同業者の職員などの自殺について聞くこともあった。自殺した人は悲しい思いやとてもしんどい思いをしていたことだと思う。自殺をなくしたいことはもちろんだが、自殺に至らないまでも非常に面白くない毎日を送っている人がいると思う。うつ状態に苦しんでいる人、病気に苦しんでいる人、職場で嫌なことがあって苦しんでいる人もいる。自殺に至る構成要素のような不幸は、自殺に至らないまでもいろいろな人の中にある。それが私たちの相手であり、そうしたこと（自殺に至る構成要素のような不幸）をなくしていきたい。そう考えると、自分事（我が事）として捉えられると思うし、そうしていけたらと思う。自殺について見聞きしても「自分は自殺しない、周りの人は自分が支えるから自殺しない」で終わらせるのではなく、自殺に至るまでにある様々なファクターをなくしていくような社会づくりをしたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認する。

令和6年 10 月 28 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 保健部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	第2次岸和田市いのち支える自殺対策計画の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田市いのち支える自殺対策計画(令和2年度～6年度)では「誰も自殺に追い込まれることのない『生き心地の良い社会』の実現」を基本理念として、自殺対策施策を推進してきました。 現行の計画が令和6年度で最終年度を迎えることから、次期第2次岸和田市いのち支える自殺対策計画(素案)をまとめました。 令和7年度から始まる「第2次岸和田市いのち支える自殺対策計画」(素案)についてご審議をお願いします。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	保健部健康推進課長 長谷川 保健部健康推進課保健推進担当 小山
付議事項の概要	様式別紙に記載

付議会議	令和6年度 第7回会議
付議事項	第2次岸和田市いのちを支える自殺対策計画の策定について

★取組の目的

対象	市民、事業者、行政
どのような状態を目指す	誰も自殺に追い込まれることのない「生き心地の良い社会」の実現を目指します。

★総合計画上の位置付け

2010102	基本目標	健康で自分らしく生きられるまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している
	個別目標の方向性	① 健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める
	行政の役割	薬物防止や自殺予防など心の健康管理を支援する

★現状と課題

高齢者・働く世代・男性の自殺者が多くを占める、自殺者の約7割が同居人がいる世帯である、大阪府内で子どもや若者世代の自殺未遂者が増加している、という現状にあって、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、第1次計画の目標が達成されていない。自殺の動機には社会情勢を含め様々な要因が複雑に絡みあっているため、目標達成までの取り組みは容易ではないが、全市的かつ計画的に対策を進めていく必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
岸和田市いのちを支える自殺対策計画進捗管理		340	331	570					
第2次岸和田市いのちを支える自殺対策計画策定				3,427					
第2次岸和田市いのちを支える自殺対策計画進捗管理					600	600	600	600	600
第3次岸和田市いのちを支える自殺対策計画策定									5,000
財源内訳	国費								
	府費	160	155	1,999	317	317	317	317	2,817
	起債								
	一般財源	180	176	1,998	283	283	283	283	2,783
	その他								
事業費		計			R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		8,000			600	600	600	600	5,600

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値							
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
①	自殺者数 (5年平均)	人	34.2人 (実績)	R5年～R9年平均 32.2人未満						
②	自殺死亡率 (人口10万人対) (5年平均)	—	17.63 (実績)	R5年～R9年平均 16.1未満						

※事業費及び人員を確約するものではない。